

27 農作業安全緊急推進事業

【117(10) 百万円】

対策のポイント

農作業事故防止に向けた地域における効果的・効率的な活動を促進するとともに、トラクターの事故防止に向けた取組を支援します。

<背景/課題>

- ・高齢化等により農業就業人口が減少している中で、農作業死亡事故は近年約400件で推移しており、農作業死亡事故の減少は喫緊の課題となっています。
- ・このため、新たな食料・農業・農村基本計画に農作業安全対策の推進を位置づけ、その取組の強化を図ることとしています。

政策目標

農作業死亡事故件数を3年間で1割以上低減

<主な内容>

1. 農作業事故防止活動確立事業

地域の活動を効果的・持続的に進めるための推進体制のあり方や具体的な活動のポイント等を体系的に整理し、地域における農作業事故防止活動を促進します。

農作業事故防止活動確立事業委託費 9(10) 百万円
事業実施主体：民間団体等

2. 農作業安全推進体制緊急整備事業

(1) 農作業事故の対面調査による詳細分析

事故実態に基づき、重点化した安全指導や農業機械の安全基準の見直しなどを進めるため、農作業事故を対面調査により詳細に調査・分析します。

(2) 携帯電話等による転倒事故通報システムの実用化試験

農作業事故の発生時に速やかに通報できるシステムを構築し、死亡事故の減少につなげるため、携帯電話等による転倒事故通報システムについて農業現場で実用化に向けた試験を行います。

(3) 安全フレーム装着トラクターへの更新促進を支援

現在使用中の安全フレーム未装着のトラクターを3台処分して、安全フレーム装着トラクター1台に更新する場合、15万円を助成します。

農作業安全推進体制緊急整備事業 108(0) 百万円
補助率：定額

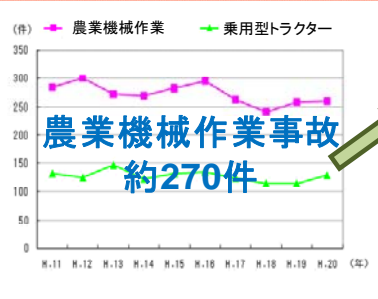
事業実施主体：民間団体（公益法人除く）、農業団体、協議会組織等

[お問い合わせ先：生産局農業生産支援課 (03-6744-2111 (直))]

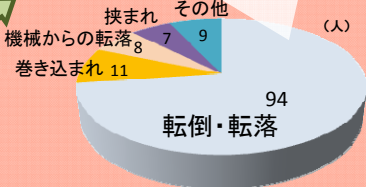
農作業安全対策の新たな展開

現状

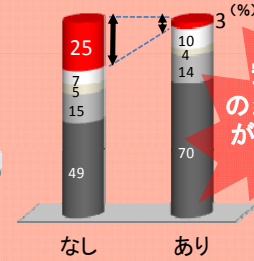
- 農作業死亡事故は毎年約400件前後発生。うち、高齢者の割合は8割。
- 特に、農業機械作業によるものが約270件ある中で、乗用型トラクターの事故は、約130件。



トラクター事故 約130件
うち、転倒・転落が事故原因
第1位



■ 無傷 ■ 通院不要ケガ ■ 入院 ■ 死亡



安全フレームの装着で死亡率が大幅に低下

対策① 農作業安全に係る意識向上等対策

農業機械の安全基準の改正や農作業安全指導の重点化

対面調査による農作業事故の詳細分析の実施

- 農作業死亡事故を対面調査により詳細に分析し、農業機械の更なる改良点の洗い出しや発生頻度の高い事故要因を体系的に整理

効果

- ・ 農業機械の安全性の向上
- ・ 発生頻度などに基づく安全指導の強化

対策② トラクター事故防止対策

新たな安全システムの活用による意識向上

携帯電話等による転倒通報システムの実用化試験

- トラクターの転倒事故について、携帯電話等を用いた装置で事故の発生が速やかに通報される地域システムの実用化試験を実施

効果

- ・ 事故発生時の迅速な対応の実現
- ・ 地域全体の安全意識の向上による農作業事故の減少

トラクターの安全フレーム装着率の向上

トラクターの安全フレーム装着促進支援

- 安全フレーム未装着トラクター3台を処分して、装着トラクター1台に更新する場合、15万円を助成

効果

- ・ 安全フレームの装着促進による死亡事故の減少

このほか、地域の活動を効果的・持続的に進めるための推進体制のあり方や具体的な活動のポイント等を体系的に整理し、地域における農作業事故防止活動を促進

農作業死亡事故件数の減少